

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	有限会社 プレア企画 グループハウス およりの郷
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	長 崎 県 島 原 市 鎌 田 町 丁 4 1 3 3 番 地
記入者名 (管理者)	増 田 光 子
記入日	平 成 1 9 年 1 0 月 1 0 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームでの生活を「ゆっくりと過ごせるような家庭」に近づけるよう心掛けています		(家庭的な雰囲気)を大切に、馴染みを更に深める援助
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	犬をつれて入居者の方と公園まで散歩へ行ったり、神社へ行ったりしています		近隣の方々との気楽な挨拶、会話を交わす
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ゆっくり、のんびり、のどかを理念に掲げ出来る限りそれに近づけるよう努力中です		利用者の家族関係を保つ為、面会の機会を確保と近隣の方々への行事等の招待
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人とは散歩の時に声掛けし、時々野菜を戴く事等はありませんが、立ち寄るところまでは至っておりません。およりの郷のほうへ車で遊びに行ったり来たりはしています		より開放された雰囲気作り
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	秋祭り等で、地域の保育園児や住民を招待したり、町内の防火訓練等に参加したり、小学校の子供達より毎年正月、公民館で突いた餅を戴いたりしていますが、地域の方々との交流は活発ではありません		自治会、老人会、地元の方々との交流を深めていくよう、スタッフと話し合いながら、取り組んでいきたいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>今年は秋祭り、敬老会を兼ねて、地域の方を交えて実施いたしました</p>		<p>地域の一住民としての自覚を持ち、世間話の中から、困り事などないかを伺う</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価票を掲示し、日々の取り組み、反省に活用している</p>		<p>OJT会議等で理念に添った、利用者対応となっているかの検討を行いたい</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の方、包括の方、家族の方の意見をしっかり取り組んでいくよう心掛けています。特に家族の方の要望を言うて下さるので助かります</p>		<p>〔おより便り〕を家族に配布したところ、とても喜ばれたので頑張っていきたいと思います</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>三会地区での文化祭、島原市のカラオケ大会等も入居者大好きなので出かけています</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度の存在は理解してすいるが、現段階においての必要性は低い状況</p>		<p>積極的に、関係する研修会に参加学習して利用者およびその家族に分かり易く説明できるよう勉強したいと思います</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入居者の方に対して強い口調、態度、顔つき等注意するよう、心掛けています</p>		<p>常に笑顔で余裕ある態度での、利用者対応を更に徹底したいと考えています</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居された時にいろいろとお話して好きな食べ物、趣味、要望等を常に聞くよう心掛けています</p>		<p>ほとんどの方が、若い頃の写真、働いていた頃の写真等、持ってこられていないので、出来れば持ってきていただいて、写真を見ながら話を聞きたいと思っています</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>今のところ苦情等はありません</p>		<p>利用者の生活において、より細やかな配慮により不満の表出に対しての、より公平な立場での解決が出来ればと思っています</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の暮らしぶりや健康状態等は(おより便り)で個々に郵送しております尚、金銭管理は事務所の職員がおこなっております</p>		<p>(おより便り)を2ヶ月に1回、出すようにしています</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の方が面会に見えたときに意見等を聞くようにしています</p>		<p>第三者委員の設置を検討しています</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティングの時に色々なことを話し合っています</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>お互いの話し合いで勤務変更を出して調整に努めています</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来る限り入居者の不安が無いよう社長(運営者)を交えて話し合いをするようにしています</p>		<p>業務上の困り事、人間関係等、トラブルの芽が小さい段階で解決するよう努める</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	およりの郷 で勉強会等をし、良い点はお互い教え合いながら、情報の共有化を図っています	職員の資質向上の為、研修会、講演等への参加を図りたい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護に携わっている方のケア研究会があるのでその時に色々話をしたり、聞いたりとしています	相互訪問、職員の現場研修により、質の向上を図りたい
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス解消する機会等は殆どありません	悩み事、困り事を気楽に相談できる場と機会づくり
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	お互いの思いやりをもって働けるよう努めています	現場を歩いて、現場の声を運営に生かす
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者の居室を訪ねて色々聞くようにしています又本人の自宅、入院先等を訪問し、面談において聞き取りを行っています	家族の方へ電話を入れ本人と話をさせていただくようにしています
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話や、面会に見えたときに聞いてします又本人との面談時に家族よりの要望、困り事等を伺い、当ホームの理念などを説明する又電話相談、見学にも対応している	本人及び家族の状況を細やかに話してもらえよう雰囲気作りと相談力の向上

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の方が知り合いの方に合いたい、と訴え合った時等ありましたその時は、電話を入れて面会に連れていったこともありました		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時はなかなか馴染めずにおられるときは、4～5日間家族の方が会いに来て下さったりされて、落ち着かれるようになりました		家族との関係づくり、援助を更に深めたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクを通じて楽しく過ごすように心掛けています。入浴時は二人なので、その時にゆっくりと話をし、昔のことなど話をし下さったりして、次の日は笑顔で声掛けして下さっています		共に生活し、学ぶという姿勢を全職員に身につける
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	何かある事に家族の方に電話を入れて話をしています		家族の援助を更に深め職員共々にしえんしていく雰囲気と姿勢づくり
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	何かあったりされた時は、家族に電話を入れ本人と話をしただいております。家族関係に支障をきたさないように、面会、行事参加の呼びかけを行っています		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人に逢いたいと訴えある時は、友人の方に電話を入れて、話をしただき、面会に連れて行くようにしています		本人の生活歴をよく理解し関係維持を図りたい
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクとかドライブ等を通して、皆さん仲良くしてもらうよう心掛けています		場面に応じては、利用者間をスタッフが繋ぎ役として、支援できるような関係づくり

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去先が医療機関の場合、本人の状態を伺う様にして、出来るだけ関係が断ち切れないようにしています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い通りにしていただくよう心掛けています		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人にあった生活で、ゆっくり、のんびりと生活してもらうよう心掛けています		利用者本人との会話、行動が今の状況と要望を察知し今後の生活に反映させる
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日バイタルチェック(朝、昼、夕)をして様子を見ています。食事のチェック、顔色等を観察するようにしています		日々の記録、様子観察を確実に把握して、より良い生活に反映したい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	その日の職員で話し合いをして決める。例えば食事の席等も、隣にいたくないと言われる方をどうするか等話し合う		ケアチェックの利用、利用者の全体像の捉え方等の集約、本人の望み、家族の思いを的確に反映させる
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ミーティングの時に話し合いをするよう心掛けています		状態変化に即応し、スタッフの意見を調整、集約して家族にも連絡し、計画に反映したい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や申し送り等で対応しています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の要望には、出来る限り要望に応じるよう心掛けています		短期入所、通書介護の実績が現在まではないが今後、要望に応じた対応も実施したい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ヘルパー研修の受入や、有明中学校の生徒の福祉体験等協力して下さっています。積極的に受入しています		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在では他のケアマネジャー、サービス事業者を介しての利用はありません		利用者の要望を伺い、対応したいと考えています
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進委員会を通じて協力して頂いております		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	何時でも直ぐに、駆け付けて下さるので助かります		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	職員が医師に相談はしますが、なかなか気持ちよく見ていただく病院が少なくなっているので心配です		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携で週一回、来ていただいたときに相談しています		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院したときは、かかりつけ医と相談し指示を頂いています又入院中の様子を随時伺っています		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と密に連絡取りながら、かかりつけ医と相談はしています		本人は暫く自宅へ戻りたいとの訴えあり先生にお願いして暫くの間ホームにいてもらうように、説得してもらっている
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族と話し合っ、本人の食べたい物を買ってきて食べさせて欲しいとの訴えあり、食べたい物を買ってきて出しています		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族の方が協力して下さるので助かります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人一人が安心して、ゆっくりと生活できるように、出来る限り話を聞いて対応していくよう、努力しています(守秘義務の取り決め)</p>	<p>職員相互に注意を促し、より徹底する</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご主人の命日に、お寺へお参りしたいと訴え等あったのでそんなときは、お寺にお参りに行くようにしています</p>	<p>今後も本人の意思決定とその能力の維持を図る</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>出来る限りしてはいるのですが、受診等に出ているときは、どうしても人手が足りずに、散歩等して上げられないのが残念です</p>	<p>時間的、人的調整を行い生活支援を行いたい</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎月一回、美容室よりカットに来てもらっています。出かけられるときは、お化粧の介助を行っています</p>	<p>何時までも忘れないよう、意識を持ってもらうための、声かけ、援助</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の配膳をしていただいたり、テーブルを拭いていただいています</p>	<p>衛生面、危険に配慮した食事作りをスタッフと行う</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>肉の嫌いな方には、別に魚や卵などを出しています</p>	<p>個別食には難しさはあるが、可能な範囲で対応し、楽しい食事が出来るよう工夫する</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人がトイレに行かれるときに付いていき、トイレ介助しています		体調変化に伴う、排泄パターンへの対応、介護用品を使用しない生活
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の望みでしています。夕食後に入りたいと言われる方は夕食後入浴していただいています		今後も継続して心身のリラックスタイムを確保していきたい
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	何時でも好きなときに休んでもらえるよう、個室になっているので、好きな時間に休んでもらっています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物をたたんで下さる方、配膳をして下さる方、生け花をして下さる方、歌が好きな方等色々といらっしゃいます		まだ見出せない、〔生活力があるはず〕という意識を持って支援していく
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	2～3人の方は、お金を持っておられ、どこかへドライブへ行ったときなど、果物、お菓子を買ってこられ、それを皆さんで食べるよう言われ、買って下さいます		金銭自己管理の確認、トラブル未然防止
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園、お寺、神社が近くにあるので、散歩に行くよう努めています		利用者の心身の状態、天候等を考慮して今後も継続したい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の方が面会に来られ、よくドライブに連れて行って下さる家族もありますその他、花見、カラオケ大会等も行きます		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりができる方は、二人ほどですが、電話はこちらの方から掛けて、話をさせていただいています		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	何時でも訪問して頂けるよう、職員一同心掛けています。お茶、コーヒー、お菓子等出したりしています		今後とも自由な雰囲気でのほうもんを確保したい
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	出て行くとされる方が時々おられますが、玄関は網戸にしてあり、出られたときは一緒に出て、散歩に行きますよと言って、付いて行くようにしています		日々の生活の中での言葉、態度、行動等において職員としての振り返りを更に重視したい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	家庭的雰囲気を大切にし、開放されたホームを実践し、危険が予知されるケースにて対応しています		利用者の解放された生活を今後も支援していきたい
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	出来る限り、リビングの方に出ていただき、レク等を通じて、安全を図っています		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品等はクローゼットの中に置いてあります		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に変化が生じた場合、直ぐにスタッフ間で情報を共有し、対応しています		リスクマネジメントの個別対応を具体策造り

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的には行っていませんが、急変時には直ぐに救急車を呼ぶことにしています。救急連絡網作っています		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の利用者の避難は、自主避難訓練を2回行っていますが、消防署や警察等と呼んでの訓練を11月に実施し、緊急災害に備えたい		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	本人の状態を、家族に理解を得られるまで説明し、個別対応を行っています		現状の生活において予測できる、リスクとその対策を状態変化に応じて家族と話し合い理解を得る
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化時は、直ぐかかりつけの病院に電話を入れ受診、家族にはその後電話を入れ結果報告をしています		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来る限り努力しています		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表等を見て、水分チェック等行い無理のない運動に心掛けています		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯の方は毎週2回、ポリテント洗浄をしています。歯磨きがいやな方は口腔洗浄をしています		清潔保持の意識を持ってもらうための説明、援助を行う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	なかなか水分がとれない方はコーヒー牛乳にして出したり、ゼリー状にして出したりして、努力しています。入浴後は必ず水分を多く取って頂くようにしています		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	およりの郷で勉強会等をしています。トイレの回り、ハイターを薄めた液を吹きかけたり、ゴミ箱の中に吹きかけたりをしています		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品の賞味期限の確認。常にハイター消毒をしています。布巾、湯飲み、まな板等		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の家庭の玄関で、犬がいて、玄関の入り口は、網戸をしています。回りはとても静かで、住みやすく、ホームの回りは、畑も海も見えて、とてもゆっくりと出来る感じがします		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの方は、いつも花や植物を置いて、季節を感じてもらっています。天井の上には日が射すので、花と植物を飾っています		利用者よりの意見、要望を大切に空間づくり
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い入居者の部屋へ行かれて話をされたり、和室で話をしたり、テレビを見たりされています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	椅子、テレビ、家具等を持ってこられ、お孫さんの写真を貼っ たりされています。お位牌を持って来られています		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	朝から全居室、窓を全開して空気の入換えをし、その後、 本人の体調に合わせた、温度調節をしています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	廊下の回りは全て、手すりを取り付けています。トイレにも手 すりを取り付け、玄関はスロープ、手すりを取り付けています		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	帰宅願望の方がおられ、一日中言っておられるので、メモと ペンを渡し、娘さんが来られた事など書いてもらうようにして いますがまだまだです		利用者一人一人の生活力をもっとよく知る職員の姿勢強 化
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	リビングの所に、ベランダがあり、犬を連れてくると、とても喜 んで見ておられます		利用者の意見をよく聞いて、共同しての環境整備の実施

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

{ 1 } 自分の好きな時間に、入浴できる事だと思えます。 { 2 } 利用者本位の理念の実践